

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室ことのは3号館		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 27日 ～ 令和7年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 27日 ～ 令和7年 2月 17日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員を多めに配置しており、寄り添った支援が行えています。	児童それぞれに合わせた支援を心がけており、一人一人の要望を聞きながら活動を行っています。	園外活動も多く取り入れて自然と発語が増える様に意識して子ども達に楽しく過ごす事ができる様に配慮していきます。
2	様々な資格を持った職員が在籍しており、多角的な療育が行えます。	支援会議などを通して、いろんな視点での療育や支援方法を共有しています。	情報交換会を通して、法人内で研修や困り感等を共有し、改善に繋がっています。
3	子ども達の状態等、部屋ごとでの活動が分けられることは強みだと思います。	活動によって部屋を分けているので、各々に合わせた療育環境を設定しています。 1階が粗大・運動コーナー、2階が訓練、静かな遊びコーナーです。	小集団での活動や他児交流の環境も出来るように玩具を年齢別に分けて遊べるようにしていこうと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	管理者や児童発達支援管理責任者が行っている事業所での取り組みや実施していることの共有不足があります。	児童のことについてのミーティングが多いので、それ以外の内容も共有していく必要があると思います。	定期的な業務ミーティングの実施や職員の困っている、分からないことの解消を行っていけたらと思います。
2	小集団で運動等を実施する際に思い切り動き回ることが難しいです。	事業所の構造上、1軒家の為物の配置や環境設定が必要だと思います。	活動内容によつての使用する道具の設置場所や配置場所を変更することや、運動遊びの内容の見直しを行っています。
3	研修時間の確保、個人業務の確保方法が決まっていないところだと思います。	午前・午後と児童が毎時間来るため、合間に記録等を実施しています。そのため個人の研修や全体での研修時間の抽出が難しいところがあります。	各職員が交代で記録に入ったり、児童対応の工夫を行うことが必要だと思います。